失敗しないために
マネー会議を開くべし

家族進学マネー

大学受験・進学のスケジュール例と費用準備例（2025年度）

高校3年生

4・5月
- ●教育資金の確認・検討
- 〈春募集〉奨学金予約採用 申し込み

6・7月
- なるべく早い時期にマネー会議を行うと、計画が立てやすくなります。
- 申し込み期間

8月
- ¥はお金が必要なタイミングを表します。

9月
- ●教育ローンの申し込み
- ※資金が必要になる3か月前が目安
- ¥総合型選抜・出願
- ¥大学入学共通テスト各自web出願

10月
- ●一般選抜・学校推薦型選抜・願書取り寄せ
- 奨学金「採用候補者決定通知」交付

11月
- ¥国公立・私立大学 学校推薦型選抜・出願
- ¥総合型選抜・合格発表 開始～入学手続き
- ※一般選抜よりも入学手続きが早い

12月
- ¥学校推薦型選抜・合格発表 開始～入学手続き
- ※一般選抜よりも入学手続きが早い
- ¥私立大学一般選抜・出願

1月
- ●大学入学共通テスト
- ¥国公立大学個別学力検査・出願
- 交付期間

2月
- ¥私立大学一般選抜・合格発表～入学手続き
- ¥国公立大学前期試験

3月
- ¥公立大学中期試験・合格発表～入学手続き
- ¥国公立大学後期試験、前期・後期合格発表～入学手続き
- ¥新生活への準備

大学1年生

4月
- ●大学入学
- ●奨学金「進学届」の提出
- ●給付奨学金対象者は授業料等減免の申し込み
- ●在学採用の申し込み

5月
- ●奨学金支給開始
- ※進学届提出時期により多少前後します
- 奨学金は入学手続きには使えません。

お金のことを家族でオープンに話す意義とは？

高校生にとって、進路選択は自分の将来を決める重要な決断です。子どもの考えを尊重し、悔いのない選択をさせてあげたいですよね。一方で、大学進学にかかるお金に関しては保護者のサポートが必要です。その金額も国公立か私立か、文系・理系、下宿をするのかでピンキリ！　子どもが行きたい大学をめざして必死に努力したとしても、いざ受験期になってお金を用意できなければ元も子もありません。

そこでオススメなのが「進学マネー会議」。なるべく早い段階で子どもの気持ちと希望する進学先のコスト、家計の現状を把握し、進学費用のプランを立てましょう。もし足りなくても、奨学金や教育ローンで補うなど、お金についてオープンに話し合うことで家族の信頼関係が深まり、選択肢も広がります。親子で力を合わせ、難関突破をめざしましょう！

「貯蓄の切り崩し」は、やり過ぎに注意

マネー会議では、子どもの意思と家計の現状を確認したうえで、どのように教育資金をまかなうかが主要なテーマです。収入だけでは足りない場合、まずは貯蓄から支出することを考えます。しかしその場合は、生活防衛資金とのバランスをしっかり考えないと、収入が減少するなどした場合に苦労することになります。

一方、収入が少ない、貯蓄がないからといって、最初から進路を限定してしまうのは考えものです。不本意な選択をすると、悔いを残すことになりかねません。国の奨学金制度のほか、最近では大学や自治体などが、さまざまな奨学金制度を設けています。また、国や金融機関による教育ローンもあります。どんな手段があるかを調べながら、マネー会議に臨むとよいでしょう。

家族でお金について話し合う 3つのメリット

1. 子どもと進路について、本音で話し合える
2. 希望の進路をかなえるための手が打てる
3. 不測の事態が起こっても、プラン変更がしやすい

※奨学金…表内に記載の奨学金は「日本学生支援機構」の場合。スケジュールは暫定版であり、変更となる場合がある。※給付奨学金に関しては、退学後に別の学校に入学する場合（編入を除く）、あらためて申し込むことはできない。

出典：2025「受験生の保護者が使う本」

会議のススメ

子どもと良い話し合いをするための
コツを動画でも解説してます！
https://qrtn.jp/76bsr

マネー会議のコツ

お互いの考えを正直に話す

会議では、隠し事や遠慮は無用です。子どもは自分がどうしたいのか、保護者はわが家の家計や、今後のお金の計画をどう考えているのかを正直に話しましょう。

相手を否定しない

子どもが正直に話してくれても、最初から否定しては、話しにくくなってしまいます。まずはじっくり話を聞くことに徹して、気持ちや現状を確認しましょう。

すぐに諦めず、調べてみる

費用が足りないからといって、すぐに諦める必要はありません。子どもの進学を助けるさまざまな奨学金制度などがあります。**どんな奨学金があるのか**、調べてみましょう。

さまざまな奨学金

■日本学生支援機構

独立行政法人である日本学生支援機構（JASSO）が取り扱う奨学金で、多くの学生が利用しています。利用には、家計や学力などの基準を満たす必要がありますが、貸与型の第一種奨学金と第二種奨学金、給付型で基準はそれぞれ異なります。

■各大学

大学が独自に設ける奨学金制度も多数あります。給付型が多く、首都圏の大学を受験する地方の受験生は受験前に奨学金の予約ができる「入学前予約型給付奨学金」もあります。希望する大学ごとに確認しましょう。

■地方公共団体

地方の自治体が独自に設けている奨学金制度。無利子の月額貸与が多いですが、他の奨学金制度と併用ができない場合があります。住んでいる地域について調べるとよいでしょう。

■奨学金事業団体

企業や個人、民間団体などによって運営されている奨学金もたくさんあります。例えば、あしなが育英会や、新聞社各社による奨学金などがあります。企業の場合は、企業独自の制度や特徴があるので、奨学金の検索サイトでよく調べてみるようにしましょう。

(!) 奨学金には「もらう（給付型）」ものと「借りる（貸与型）」ものの２種類があります。

(!) 高校在学中に申し込めるJASSOの奨学金予約採用は、後で辞退することもできるので、とりあえず申し込んでおけば安心です。申し込みの手続き期間は高校が設定します。必ず在学中の高校に確認しましょう。

出典：2025「受験生の保護者が使う本」

巻頭はがき を使って、大学パンフを取り寄せて、具体的な金額を調べてみましょう！

家族進学マネー会議 ワークシート

p.24の「家族の進路会議コミュニケーションシート」も参考にしてね！

家族のマネー会議では、このワークシートに書き込みながら進めてみましょう。
お金のことが「見える化」されるとプランを立てやすくなります。

STEP 1 希望進路の確認

まずは、**子どもの希望進路を確認**します。特に費用のプランニングの基になる以下の項目について、じっくりとヒアリングを。希望がはっきりしない場合は、保護者の思いやアドバイスも交えながら、理想の進路を一緒に探っていきましょう。

- **第1志望校** ☐国立 ☐公立 ☐私立 ＿＿＿＿＿＿ 大学 ＿＿＿＿＿＿ 学部
- **大学に行きたい理由** ＿＿＿＿＿＿
- **併願校** （　　）校　　**希望する選抜方式** ☐一般 ☐学校推薦型 ☐総合型
- **通学** ☐自宅 ☐下宿（アパートなど一人暮らし） ☐寮（大学の学生寮など）
- **留学** ☐しない ☐短期（～3か月） ☐中期（3か月～1年） ☐長期（1年～）

STEP 2 かかる費用を調べる

受験から大学卒業までにかかる費用を、各大学のWebサイトや本誌(p36-39)を参考に書き込んでいきます。志望校によって金額に差がある場合は、高いほうで見積もっておきましょう。

	項目	内容	金額（万円）
受験期	塾・通信講座などの受講費用		
	オープンキャンパス参加費用	交通費・宿泊費	
	大学入学共通テスト検定料	教科 ※2教科以下1.2万円、3教科以上1.8万円	
	国公立大学個別入試検定料	万円 × 校 ※1校当たり1.7万円	
	私立大学検定料	万円 × 校 ※目安は1校当たり3.5万円	
	共通テスト利用入試	万円 × 校 ※目安は1校当たり1.5万円	
	受験時の交通費・宿泊費		
合格～入学まで	初年度納付金*（入学手続き時納付額）	入学金、1年次前期分授業料、施設・設備費	
	併願校の初年度納付金*（入学手続き時納付額）		
	入学時の費用	教科書・教材費、住まい探しの費用、入居時の費用、家具・家電購入費	
卒業まで	学費	1年次後期分	
		2年次以降 万円 × 年	
	生活費	月平均 万円 × 48か月（4年間）	
	留学費用		
	その他	運転免許取得費用、旅行費用、就活費用など	

奨学金でまかなえるのは入学以降の費用です。

＊初年度納付金の内訳は大学によって異なりますので、必ず確認しましょう。

合計（①） ＿＿＿＿＿＿ 万円

うち、受験期から入学までに必要な金額 ＿＿＿＿＿＿ 万円

出典：2025「受験生の保護者が使う本」

このページのワークシートと、タイプ別の記入例（国公立大学、私立大学の自宅 / 自宅外）をこちらからダウンロードできます。 https://qrtn.jp/8mzsg

STEP 3 家計の現状を洗い出す

家計から支出できるお金を見積もります。兄弟の有無や家計の状況などによって大きく変わるので、最低限これだけは出せるという金額を設定しましょう。なお、**初年度納付金など、入学の前に必要な費用に奨学金は使えない**ので注意を。

項目	内容	金額（万円）
貯蓄から支出できる金額		
給与から支出できる金額	月平均　　万円×　48か月（4年間）	
学資保険	満期保険金の受取時期　　年　　月　　日	
その他		

祖父母、親族からの援助などがあれば記入しておきましょう。

合計（②）＿＿＿＿＿＿万円

STEP 4 希望を実現する方法を探る

足りない金額を算出し、それを補うための方法と金額を調べます。給付型奨学金は家計状況や学業成績などに所定の採用条件があるので、安易に見積もるのはお勧めできません。また、アルバイトは学業がおろそかにならない程度にとどめましょう。

差額（①②）＿＿＿＿＿＿万円

項目	内容	金額（万円）
日本学生支援機構奨学金（本人）	月額　　万円×　48か月（4年間）	
教育ローン（保護者）		
アルバイト（本人）	月平均　　万円×　48か月（4年間）	

STEP 5 返済計画を考える

STEP 4をふまえて具体的な月々の返済の金額を算出しておきましょう。例も参考にしながら、**無理のない返済計画を立てる**ことが重要です。

・日本学生支援機構奨学金　日本学生支援機構のWebサイトでシミュレーションを！

貸与利率	貸与月額	貸与総額	返還期間	毎月の返還額
			（　年　月～　年　月）	
（例）利率固定方式3%	80,000円	3,840,000円	20年（2030年10月～2050年9月）	21,531円

＊適用利率は貸与終了時に決まる。最新の利率（2025年1月時点）1.440%の場合の月々の返還額は18,536円。上記は上限の3%で試算。

・教育ローン

※返済例は「国の教育ローン」の場合

返済方式	金利	借入額	返済期間	毎月の返済額
			（　年　月～　年　月）	
（例）元利均等返済	固定金利2.65%	1,000,000円	10年（2025年10月～2035年9月）	9,600円
（例）元金据置*	固定金利2.65%	1,000,000円	10年（2025年10月～2035年9月）	在学中2,300円 卒業後16,300円

＊元金据置…一定期間、金利のみを支払うこと。ここでは在学中は金利のみを支払い、卒業後に元金返済を開始することを想定。

出典：2025「受験生の保護者が使う本」